

第41号 2007年9月1日

# 税制懇ニュース

発行所

全国税制懇話会

〒169 東京都新宿区百人町1-16-18  
-0073 センチュリービル2F

東京税財政研究センター内

☎03(3360)3871 FAX03(3360)3870

## 07年秋季研究集会・全国理事会

10月21日(日)～22日(月)

### 浜名湖一望 かんざんじ温泉で開催

07年、税制懇秋の研究集会は10月21日(日)～22日(月)「浜名湖かんざんじ温泉・開華亭」にて開催されます。この地は浜名湖を一望できる大変風光明媚で、温泉地としても名高いところです。また、新幹線浜松駅からホテルのシャトルバス(無料・要予約)で約40分と、比較的立地にも恵まれています。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

講演は安藤実静岡大学名誉教授の「シャープ勤告60年、消費税20年」。大いに期待できそうです。

今回は実践報告を特に重視し、在京理事会では、「役員給与問題で、どのような対策を具体的にとったか」をテーマにパネルディスカッション形式で報告したらどうかとの提起があり、具体化することとしました。関信・東京・東海・近畿各ブロックで発表者を用意して下さい。その他のブロックについても、実践報告者ができるようご協力をお願いします。

また、今回は「激変する税務行政について」の特別報告を準備することとしました。

#### ～～ 秋季研究集会の概要 ～～

- ◆ 日 時 10月21日(日)～22日(月)
- ◆ 場 所 浜名湖かんざんじ温泉・開華亭
- ◆ 会 費 20,000円(内訳、参加費15,000円、

資料代5,000円)

- ◆ 規 模 90～100名
- ◆ 申込締切 9月20日(木)
- ◆ 内 容 講 演 安藤実静岡大学名誉教授  
(シャープ勤告60年、消費税20年)  
実践報告(役員給与問題など)  
特別報告  
(激変する税務行政について)

※ 研究会終了後、短時間で全国理事会を開催します。



開華亭露天風呂

今期新入会員紹介

よろしくお願ひします。

- 松野 哲男さん  
(東京・神奈川) 5月24日入会
- 乃口 健一さん  
(四国・香川) 7月5日入会
- 山本 敏彦さん  
(関信・新潟) 7月25日入会

# 雄大な阿蘇背景に大いに研鑽

## 07年春季研究集会・第19回総会の報告

さる4月22～23日、熊本「ホテルグリーンピア南阿蘇」で開催した「全国税制懇07年春季研究集会・第19回総会」の概要について御報告します。

### 守之先生の講義に集中しました

先ず春季研究集会について。司会は林伴美理事。第一日目(22日)冒頭は、山本守之氏の「年度税制改正と今後の税制改正の方向」と題したメイン講演。年度改正に関わって、減価償却制度の改正問題に触れた山本先生は、「残存価額や償却可能限度額の制度は日本だけ。これは税収を減らさないため官僚が考えた悪知恵。こんな制度を押し付けられ、「国に決めてもらわないと日本人は減価償却の計算もできないのか」と世界からバカにされてきたが、こんどの改正で一步前進だ」。例によって鋭く、分かりやすい切り口に引き込まれました。特殊支配同族会社の役員給与の損金不算入問題についても、「基準所得が1,600万円に倍化し、適用除外が多くなったことを日税連執行部は「勝った、バンザイ」などと言っているが、もともと整合性のないこの問題に市民権を与えたのは日税連であることを忘れてもらっては困る」と、きびしく批判しました。こういった論調で、話は細部の解説も含めて多岐にわたりました。

最後に山本先生は、参院選挙等を控えた与党や税調の税政策について触れ、「選挙があるから税の話をしてはいけない」とおかしなことを述べた後、「税を考える際には、シャレを大事にすること。シャレの分からんようなヤツは税の本当のこ

とは分からない」と意味深長な発言をされ、講演を締めくくりました。

次は、実務研修・全体討議ということで「給与所得と事業所得の区分と実務対応」と題して本川国雄、宮澤義雄会員が報告。報告を受けた後の討論会では福田悦雄会員が進行役を勤めました。この種の問題は、建設関係の業種をはじめとして実務でよくぶつかることなので、数名の参加者から税務調査の体験に基づく発言や報告に対する意見が出され、活発な討論会となりました(この議論は深夜の交流の場でも再燃したとか)。

### 盛り上がった交流会

夜はお楽しみの交流会。司会は地元九州ブロックの荒尾寿味雄会員。いつものことながら、全国の気心の知れた仲間と酒を酌み交わすのはなんと楽しいことか。宴が盛り上がる中で恒例の各ブロックの紹介が行なわれました。この中で北陸の平野会員から各地の「巨木の話」紹介され、大いに盛り上がりました。

ブロック紹介でちょっと気になったのは、二人とか三人の少人数のブロックは別にして、何十人と参加者が多い東京などのブロックは、自己紹介するとそれだけで時間が経過してしまうので、その辺少し工夫が必要なようです。

## 税務現場の実態報告も

第二日目（23日）のトップバッターは龍本遊一会員。税制懇が昨年10月に行なった「南京市招待視察訪問」（坂内直治団長以下10人）についての報告を行ないました。また、龍本報告に関連して、南京市に設置されている「虹橋コンサルタント」についての説明と「虹橋」から発信されている現地情報の紹介がありました。

次いで全国税関田俊明委員長から「税務の現場から」と題して、国税庁が進めている「最適化計画」の渦中にある税務現場の実態報告がありました。

その後、実務報告として地元九州ブロックの山本友晴会員から「人格なき社団・歯科医の調査から」と題した報告が、また、東京ブロックの角谷啓一会員から「差押に対する対抗策の一例」と題した報告が行なわれ、研修会の日程を終えました。

### 全国税制懇話会・海外視察の旅

#### ロシア・モスクワ、 サンクトペテルブルグ7日間の報告

今回の視察旅行は以下のような要領で実施しました。

期 間 2007年6月7日(木)～13日(水)  
—7日間—

参加者 10名と添乗員1名（団長・坂内直治氏 事務局長・福田悦雄氏）

目 的 経済成長著しいモスクワとサンクトペテルブルグの2大都市を訪問し、今注目のロシアの日本企業進出状況を視察してきました。

報告の詳細は秋季研究集会時にお配りします。  
(浅井優子)

## 新理事長に坂内さん

## 新事務局長には青木さん

### 全国税制懇第19回総会

全国税制懇第19回総会は、4月23日(木)10時40分頃から、永沢晃会員の司会で始まりました。議長には北海道ブロックの田上詔美会員が選出されました。

坂本良雄理事長は「全国税制懇は、100名前後の全国研修会の成功を定着させる力をつけてきた。先達の苦勞と努力をさらに発展させ、今後もさらなる改革をはかって行きたい」挨拶し、議事に入りました。

経過報告、行動計画、決算報告、予算がすべて承認されるとともに、全国理事の人事についても執行部の提案が承認され、全体として若返り化がはかられました。

総会の会場で新全国理事会が開催され、新しい執行体制が確立しました。新三役（常任理事）は次のとおりです。

理 事 長 坂内直治（東京）  
副理事長 角谷啓一（東京） 林 伴美（東京）  
福田悦雄（東京） 宮澤良雄（関西）  
事務局長 青木輝光  
顧問 坂本良雄（東京） 山本守之（東京）  
吉本 貢（東京）

坂本良雄前理事長、ごくろうさまでした。



## 新理事長・事務局長のあいさつ

### みんなの英知を結集し会の発展を



理事長 坂内 直治

本会創設以来皆様には大変お世話になってまいりましたが、坂本前理事長を引き継ぎ今総会で新理事長に選出されました。前理事長同様宜しくご協力ご支援下さるようお願い申し上げます。

庶民大増税への税制改悪、税務行政の機能別組織改変による内部事務一元化と複数税目同時調査体制への移行が進められる状況の中で、納税者の権利利益を擁護するために、税制懇の果たす役割もこれまで以上に、重要な任務が求められていると思います。新役員の皆様と手を携えて、全会員の英知を結果し其の任に応えるため努めますので、重ねて皆様のご協力をお願い申し上げ、新任の挨拶といたします。

### 在京理事の任務分担決定

7月19日の在京理事会にて、次のとおり在京理事の任務分担を決めました。全国の皆さん、宜しくご協力をお願いします。(★責任者)

- 総務・財務 ★青木輝光、石橋謙夫、大野 寛、  
(田所静子)
- 企画・組織 ★宮澤義雄、永沢 晃、吉川幸三郎
- 広 報 ★角谷啓一、浅井優子、生澤杜介
- 研修・講師 ★林 伴美、本川國男、古島孝行
- 国際部 ★福田悦雄、渡辺桂子

### 新理事長を支え頑張りたい



事務局長 青木 輝光

第19回総会で新たに事務局長に就任しました。62年採用の東京税講22期生です。労働戦線再編の渦に巻き込まれ90年2月に退職し、以後東京地評(東京のローカルセンター)の専従を勤めてきました。定年後税理士業務を開始し、吉本貢税理士とともに税理士法人世田谷税経センターを立上げ、現在に至っていますがよろしくお願ひします。

税制懇の生い立ちは古く、84年秋頃から先人による相談会が開かれ、85年4月に第1回全国税制懇話会が33名の参加で開催されたと聞いています。以後春と秋の研究集会や海外税制視察を中心に前進し、今日では226名の正会員を擁するまでに発展しています。研究集会の内容も理論と実務を学び、税務当局の考えや税務行政の実態が解る貴重な集会として会員の皆様の業務に大いに役立っていると言われていています。大変荷が重い役ですが、坂内直治新理事長を支え税制懇のさらなる発展のため奮闘したいと思います。

### ◆ 東欧諸国中心に検討 ◆

税制懇第9回(07年度)海外視察研修は、企画部(宮澤部長)を中心に検討中です。いまのところ、チェコ・ハンガリーなどの東欧諸国がノミネートされています。